

【3. ケーシング側の組立方法】

3-2S1-1 耐摩板の取付



作業工程
左図のように、回転部挿入側より、耐摩板を取り付けます。

使用工具

ポイント

3-2S1-2 耐摩板の取付



作業工程
バルブケース側から、シールワッシャー⇒平ワッシャー⇒スプリングワッシャー⇒ナットの順(下図の左から)でスタッドボルトに入れ軽く締めます。

使用工具
・ソケットレンチ(13)



3-2S1-3 耐摩板の取付



作業工程
3-2S1-2同様、排水カバー下段からシールワッシャー⇒平ワッシャー⇒スプリングワッシャー⇒ナットの順でスタッドボルトに入れ軽く締めます×2箇所。そのまま3-2S1-2,3-2S1-3で軽く締めたナットを三か所、均等にソケットレンチ(13)で締めこみます。

使用工具
・ソケットレンチ(13)

ポイント

3-2S1-4 クリアランス確認




作業工程
ケーシングカバーが設地する面から耐摩板までの深さを上下左右4点デプスで測定してください。別紙クリアランス表を確認し、著しい摩耗等がみられた場合は耐摩板を交換してください。

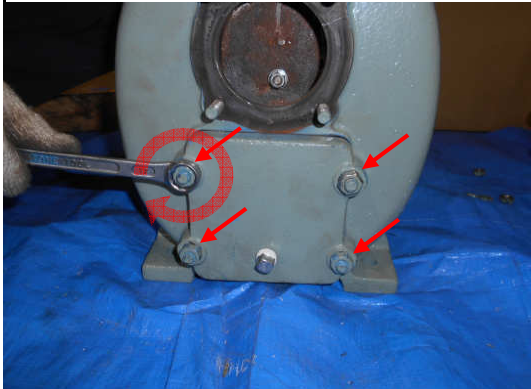
使用工具
・デプス

ポイント


3-2S1-5 排水カバーの取り付け(パッキン)

	作業工程	排水カバーパッキンを取り付けてください。	使用工具
	ポイント		

3-2S1-6 排水カバーの取り付け

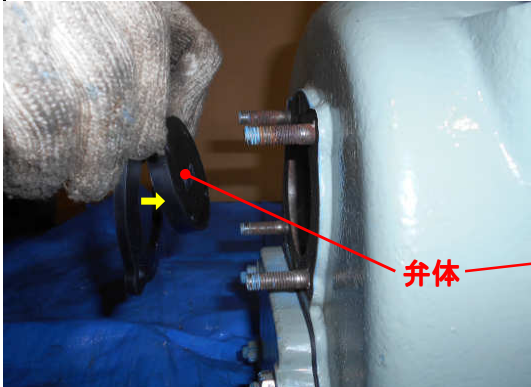
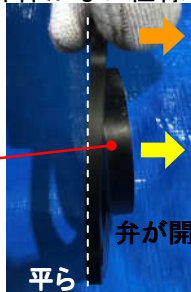

	作業工程	排水カバーを取り付け、スパナ(17)でナット×4を均等に締めてください。	使用工具 ・スパナ(17)
	ポイント		

3-2S1-7 プラグの取り付け

	作業工程	プラグにシールテープを巻き、モンキーで締めつけます。	使用工具 ・モンキー ・シールテープ
	ポイント		



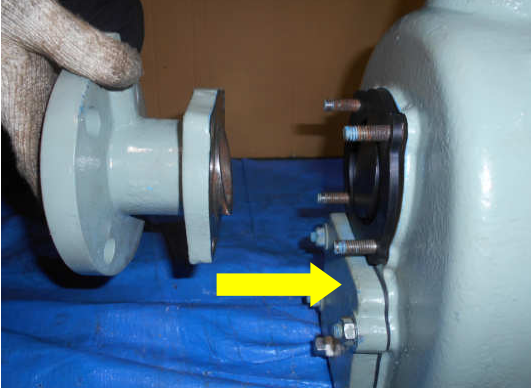
3-2S1-8 自吸弁の取り付け

	作業工程	左図のように自吸弁の弁体が奥へ開くようにバルブバルブケースへ取り付けます。(下図参照) ※弁体がない仕様もあります。	
			

3-2S1-9 自吸弁の取り付け



3-2S1-10 バルブケースの取り付け

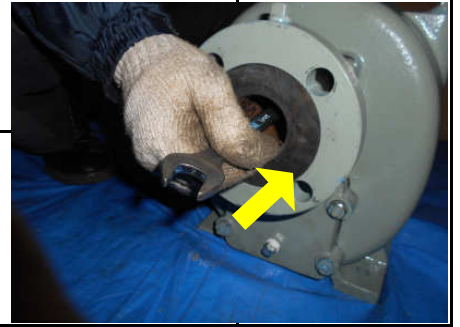


作業工程	バルブケースをケーシングに取り付けます。	使用工具
ポイント		

3-2S1-11 バルブケースの取り付け



作業工程	スパナ(17)でナット×4を均等に締めます。	使用工具 ・スパナ(17)
ポイント	全て締めた後、スパナ等で弁体を押し、弁体が正常に動作するかを確認してください。	




3-2S1-12 回転部の取り付け

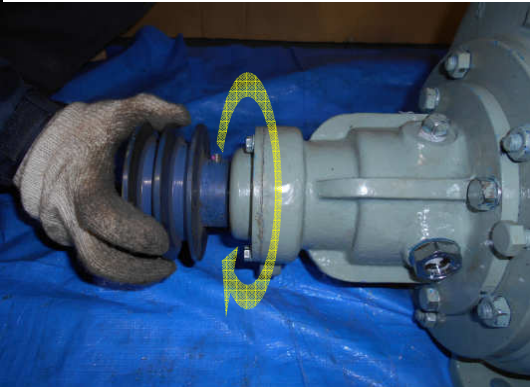


作業工程	回転部をケーシング側へ挿入します。	使用工具
ポイント		


3-2S1-13 回転部の取り付け

	作業工程	スパナ(17)でナット×6を均等に締め、回転部を固定します。	使用工具 ・スパナ(17)
	ポイント		


3-2S1-14 動作確認

	作業工程	シャフトを手回しし、内部の接触等がないか確認してください。	
	ポイント		

3-2S1-15 空圧確認

	作業工程	吸込側と吐出側を密閉し、空気圧を0.3MPaかけ、10分間保持してください。 10分間保持できない場合は、どこかで洩れが発生している為、パッキン類あるいはメカニカルシールの再組付けを行ってください。	使用工具 ・空圧装置 ・圧力計
	ポイント		

3-2S1-16 完成

	作業工程	完成です。	
	ポイント		